

真宗大谷派
東本願寺
shinshu Otani-ha

発行所
真宗大谷派宗務所
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
TEL.075-371-9189(出版部)
代表者 里雄 康意
購読料(送料共)1ヵ年1000円
振替口座番号 01000-6-27404
加入者名 東本願寺出版部

真宗大谷派 検索

新同朋新聞

11
2012.Nov.

【どうぼうしんぶん】
vol.660

主な内容

- 2・3面 ◆ 人間といういのちの相
看取りの現場に立ち会って
—「死」はいのちのバトンを受け取る場— 國森康弘さん
- 5面 ◆ 御修復ニュース
- 6・7面 ◆ 真宗本願報恩講のご案内
- 10・11面 ◆ 里雄新内局発足 ほか



看取りは、いのちのバトンリレー。
いのちのバトンとは、亡くなる瞬間まで
その人がたくわえてきた、
生き抜く力と愛情。
亡くなる人が代々受けついできたそのバトンを、
そばで看取ってくれる家族や大切な人たちに
受け渡してくれます。
そうして、あなたの胸のなかに、
亡くなった人が生き続けるのです。

國森 康弘

写真絵本シリーズ「恋ちゃん初めての看取り」より 撮影 國森康弘

御遠忌テーマ

今、いのちがあなたを生きている



國森康弘

くにもり やすひろ / 1974年生まれ。写真家、ジャーナリスト。神戸新聞記者を経てイラク戦争を機に独立。イラク、ソマリア、スーダンなどの紛争地、また東日本大震災の取材も重ねる。近年は看取り、在宅医療などの撮影にも力を入れている。2011年度上野彦馬賞、コニカミノルタ・フォトプレミオ2010など受賞。著書に『いのちづく「みどりびと」』(全4巻、農山漁村文化協会)、第1巻『恋ちゃんはじめの看取り』(第22回けんぶち絵本の里大賞)、『家族を看取る』(平凡社)、『証言 沖繩戦の日本兵』(岩波書店)など。

「人間といういのちの相」…私たちは人間として当たり前のように生きています。しかし、その与えられたいのちをどのように生きているのでしょうか。人間としてのいのちの営みはさまざまな相をとって社会に映し出されています。この紙面では、さまざまな人とお話し、人間そのものを考え、御遠忌テーマ「今、いのちがあなたを生きている」を学ぶ手がかりとしていきたいと思ひます。



「生」の中にある「死」

— 著書『恋ちゃんはじめの看取り』のおおばあちゃんの死と向きあつて、今年出版された写真絵本シリーズ『いのちづく「みどりびと」』(全四巻、農山漁村文化協会)では「看取り」のさまざまな形が表現されています。子ども向け絵本にもかかわらず、ご遺体の写真も掲載されていますね。「ういづ絵本は今まになかったのではないですか。」

看取りの現場に立ち会って

インタビュー 國森康弘さん

人の「死」を正面から見つめた写真絵本シリーズ『いのちづく「みどりびと」』を出版した写真家の國森康弘さんは、これまでさまざまな家族の「看取り」の瞬間を写真におさめてきました。それらの写真からは、悲しみの中に温かさを感じます。看取った家族の表情も印象的です。「死」は誰にも必ず訪れるもの。日常生活に当たり前訪れる別れを撮ることは、とても自然な行為であると語られます。國森さんの言葉と写真から、「生」の中にある「死」を見つめます。

「死」はいのちのバトンを受け取る場——
ノンフィクションです。恋ちゃんはひいおばあちゃんの竹子さんが大好きでした。よく部屋に遊びに行き、何をしてもニコニコ、登校する時にはいつも縁側から見送ってくれたそうです。竹子さんが亡くなる時の、恋ちゃんと竹子さんの「いのちのバトンを」を写真におさめました。確かに、子ども向けの絵本に、亡くなった人が写っているのは今までのないかもしれない。でも、当たり前前にもある「生」の中の「死」と日常生活の中にある別れを撮っただけ。とても自然な行為だと思っています。

— 反応はいかがですか。
國森 ぜひ自分を撮ってくださいという人もいますし、私のおおばあちゃんを撮ってくださいという人もいます。それから、講演に呼んでもらうようにもなりました。話す対象もさまざまです。小、中、高、大学生から、お医者さんや看護師さん、ヘルパーさんの前で話すこともあります。お坊さんの前もありました。みんな何かそれぞれに共通点があるのか、普遍的なものだからなのかわかりませんが、隔てなくいろいろなところから声がかかる感じがします。当たり前前のように、みんなが授かっている、大事にしなればならない「いのち」というところを写そうとしているので、そこに反応してくれる人は本当に幅広いですね。



恋ちゃん、ひいおばあちゃんの竹子さんと。

— 先日の講演で、ある赤ちゃんのお話が印象的でした。
國森 はい、この写真絵本シリーズを読んで、ある夫婦から「自分たちの産まれてくる子ども

も写真を撮ってほしい」という依頼がありました。その赤ちゃんは、お母さんのお腹にいる時に、18トリソミーという、いわゆる「染色体異常」の体質であることがわかったのです。18トリソミーという病気は、お腹の中で亡くなる子ども大勢いるし、産まれてきても一年以上生きられる子は一割もないというくらい、本当に重い病気なんだそうです。「もしかしらな生きて産まれてこないかもしれ

— 「死」の悲しみを埋めるもの
— 看取りの写真を撮影されようと思ったとき

いのちの尊厳
— 先日の講演で、ある赤ちゃんのお話が印象的でした。
國森 はい、この写真絵本シリーズを読んで、ある夫婦から「自分たちの産まれてくる子ども

ない。けれど、私たちに授けられたいのちをそのまま受け止めて、家族の時間を少しでも過ごしたい。そしてそれを写真に残してほしい」という依頼でした。その後、その赤ちゃんは、何とか自然分娩で生まれてきて、口や鼻で一呼吸懸命をしようとしてがんばりました。しかし、結局、三十三分で心臓が止まってしまいました。それでも、産まれてからすぐに、お母さんと

お父さんについていってほしい、亡くなつてからずっとだっこしてほしい、写真もたくさん撮って。おじいちゃん、おばあちゃんも来て、親戚も来て、みんなだっこして、お祝いして、そしてお別れをして…。

— そのご夫婦は、「短かったけれども、この子はこの子の寿命を全うした。この子からいのちのバトンを受け取った。私たちは、その生き抜くいのちそのものを尊い存在として世に残したいし、受け止めたい。だから、写真を撮ってほしいと頼んだ」三十三分といういのちだったけれども、それは、高齢の人がいのちを全うするのと同じくらい当たり前に自然なことなんじゃないか」と、後日おっしゃっていました。

— いのちは長いと短いとがいついかならぬことではない。いのちそのものが、死そのものが尊い。そうであれば、短ければ「残念だった」といついかならぬことになりませんか。
國森 はい、本当におっしゃるとおりです。そのご夫婦は、会社の同僚や知り合いの人から「不幸があつて残念でした」と言われるけれど、それには異和感を感じる。自分の授かっていたいのちを全力で生きたのだから、悲しいだけじゃないし、残念なだけじゃないし、不幸なだけじゃない。幸せだったんじゃないかなと思つていて、私たちが幸せだし、赤ちゃんも、きっと生まれてきて幸せだったと思うということをおっしゃっていました。単に残念とか不幸という言葉では片付けられないんですね。

一冊からでも お気軽にご注文下さい!
小社の出版物をお求めの際は、法藏館または法藏館書店にご注文ください。
お問い合わせは 法藏館または法藏館書店
〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL. 075-343-0458 FAX. 075-371-0458
ホームページ http://www.hozokan.co.jp
法藏館書店から直送の場合は、以下の送料がかかります。
5%税込書籍の合計金額
5,000円まで315円 / 10,000円まで525円
15,000円まで840円 / 15,000円以上 無料
代引きは上記送料の他に手数料が別途かかります。
詳細については、小社までお問い合わせ下さい。

法藏館 http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp 表示価格は税込(5%)
〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入 Tel. 075-343-0458 Fax. 075-371-0458
新刊メール配信中! お買上15,000円以上送料無料
絵ものがたり正信偈
ひかりになった、王子さま
文 浅野執持 絵 市角壮玄
一、三六五円
南無阿彌陀仏のものがたりが絵本になった!
平易な語りと絵でつづる、親鸞聖人の世界観。
【推薦・解説】
釈 徹宗 × 石田慶和
親鸞と生きた人々
伊藤智誠著
純粋な信仰に生きた妙好人一〇人を読みやすい旅行記風に紹介したガイドブック。
現代 恵信尼からの手紙
今井雅晴著
親鸞の妻、恵信尼の手紙を、詳しい解説・意識・語注・脚注で学べるテキスト。
一、六八〇円
眞宗聖典シリーズ7
眞宗聖典学② 七高僧撰述
信楽峻著
まことの「眞宗学」構築に向けた好評シリーズ。七高僧の生涯と著作を解説する。
一、九四〇円
【名復刊】
浄土論註講義
香月院深源著
一八、九〇〇円
2013 ほんのぼのカレンダー
編者 東井義雄、画文字 相川伸一郎 一四五円
スケジュールの書き込みにも便利な大判サイズ。※寺院名など印刷可能(要実費)
【標準価格】
「あたりまえ」をみんななせ喜ばないのしょう
東井義雄著 / 一〇五円

かけはどのようだったのでしょうか。

國森 もともと、イラクやソマリア、スーダンといった紛争地や、経済的な貧困地域を写真に撮っていました。それは本心に死と隣り合わせにある状況で、逆に、毎日毎日生き抜こうとする子どもたちの姿が強く印象に残っています。

同時に、そのように生き抜こうとしていても次に会った時にはもう亡くなっている子や、目の前で死んでいく子、爆発現場で爆発に巻き込まれ、ばらばらになって死んでしまう子……。残された家族も死に目にあえず、別れも感謝も交わせず、いのちのバトンを受けつづけることができなかつたかもしれない、悲しいだけの死というものを自分は数多く目の当たりにしてきました。やがて、誰もが自分のいのちを全うできるような世にするには、このような現状だけを伝えるだけではなく、同時にいのちを受けついでいく姿を伝えていくことが必要なんだろうと思うようになったのです。

——バトンを受けついでいくのはどういったことなのでしょう。

國森 紛争地で見えてきたのは、残された家族の絶叫や、言葉にならない叫び。それらは、時間が経つことで、気持ちの変化がでてくることは

もちろんあるとは思いますが、その瞬間は大切な人を失っただけで、そこを埋めるものが何もない。それが叫びとなってあらわれているような感じがしたんですね。

看取りの場というのは、悲しいけれども、そこには、その穴を埋めるのか、覆うのか、何なのかわからないけれど、何かを受け取っているものがあると感ずるのです。それは、笑顔の中の涙や、涙の中の笑顔というところにあらわれていると思うんですが、イラクなど紛争地での死、いのちが奪われる形での死には、そこに笑顔はまったくないし、温かいところもない。だけれど、看取りの場には、悲しみの中にも温かさがある。充足感がある。もつとと言うと、生命力を感じたんです。そのような生命力は、紛争地の悲しい死では、少なくとも死の瞬間には、自分を感じることはできなかった。

もう一つ、同じような生命力を感じるのには、自分の短い経験からでは、出産のシーンです。だから、考えてみると、いのちをつないでいる瞬間というのは出産と看取りのなかなという気がします。それくらい圧倒されるような空気がというんでしょうか。

——看取りの場に生命力を感じるの、死その

ものというよりも、亡くなった人へと、看取っていく人。産む親と、産まれてくる子。その間に生まれてくるやり取りのようなものから感じるものなのではないでしょうか。

國森 そうなんですよね。いのちが奪われる形での死、そこでブツリ終わるのではなく、つないでいく時。だから、親と子や、亡くなる人と寄り添う人の間の、つながりがあるんだろうという気がします。

いのちを授かり、そしてつないでいく

——「人は死んでも生き返る」「いのちがリセットできる」と思っている子どももいるという話も聞きます。子どもたちにとって、いのちを終えていく姿や老いていく姿を一緒に生活の中で受け取っていくというのが大事なことなのでしょうか。

國森 そうですね。三割くらいの子が、「いのちがリセットできる」と思っているという調査結果があるみたいですが……。

恋ちゃんは、亡くなったひいおばあちゃんの手、冷たくなった手、足、顔に触れて、肌で「死」を感じ取っています。恋ちゃんのように、そうやって看取った経験のある子は、絶対に人は死んだら生き返らないと思うようになる。一方で、

「生き返ると思う」と答えている子どもたちも、実はそんなに深く「絶対に人は生き返るんだ」と思っているわけではないと思うのです。子どもたちが、「いのちがリセットできる」と考えていることはむしろ大人の伝え方なのではないでしょうか。死を遠ざけてきた大人の伝え方が反映された子どもたちの姿であって、むしろ死を遠ざけ続けた大人の方が、子どもよりも死に対する感性は鈍っていると思うんですね。



「恋ちゃんはじめての看取り」より。写真提供/國森康弘

大好きだったおおばあちゃんが息をひきとった。手にさわってみた。足もなでてみた。ふれるとすぐくつめたんだけど……。おおばあちゃんの顔、ほんとにやさしい。わたしもいつか、おおばあちゃんみたいになんのかな。やさしいおおばあちゃんになれるかな。「ずっと大事にしてくれて、ありがとう」。

——本の中で、恋ちゃんの「わたしもいつかおおばあちゃんみたいになんのかな」という言葉が印象的ですね。國森 ええ、それは、本当に大事な言葉ですね。自分もそうやっていのちのバトンを受け取り、今度は受け渡していく立場であるんだということ、恋ちゃんは肌で感じているだろうし、これを読んだ人も感じてもらえればと思います。自分もいのちをつないでいく存在であるということまで意識してほしい。自分のいのちというのは、自分で授かったものではなくて、次はつないでいくいのちなんだということ、この写真絵本を通して感じてもらうたいです。そういう意味でも、この御遠慮テーマ「今、いのちがあるなを生き返る」というのはまさにその通りだと思えます。すばらしい言葉です。

『恋ちゃんはじめての看取り』はじめ、写真絵本シリーズの問い合わせは農山漁村文化協会(03-3585-1141)。

<p>円日成道著 観無量寿経講読19 神通の如意 中西智海先生 喜寿記念文書 定価2,000円税込</p> <p>高田慈昭著 一色一光 定価2,800円税込</p> <p>香光莊嚴 一念仏の人生 定価2,100円税込 無名会同人編</p> <p>仏と人53 「もうあう」考 私の聞法備忘録 むこうがわ詩 正信偈のこころ(十) 廻向を首としたまいて 友ありき 定価4,100円税込</p> <p>源義春 南部松雄 太田信隆 森正信 梯實圓 高田慈昭 足利孝之</p>	<p>600 8342 京都市下京区花屋町西洞院西入 永田文昌堂 振替口座 0077500155 FAX 075-371-9066 TEL 075-371-9066 075-371-9066 075-371-9066 075-371-9066 075-371-9066</p>	<p>東本願寺 門徒勤行 CD: 2,835円(税込) カセットテープ: 2,100円(税込) 読誦: 東本願寺御堂衆 [収録] 正信偈草四句目下・仏説阿弥陀經 ほか</p> <p>節談説教 親鸞聖人御一代記 お説教 祖父江省念師 CD 5枚組 10,500円(税込) 送料サービス お念仏に支えられ、力強さに満ちた親鸞聖人のご一生。親鸞聖人の足跡を辿り、そのご信心をお味わってください。 ◆ 釈尊御一代記 ◆ 蓮如上人御一代記 各セット: CD 5枚組 10,500円/送料サービス</p> <p>門前満覚寺 節談説教布教大会 DVD 2枚組 7,140円(税込) 送料サービス 茂利真正師、木越了英師、佐々木伸磨師、吉本寿寛師、廣陵兼純師。 5名の先生の個性豊かな節談説教集。全163分収録</p> <p>600-8833 京都市下京区七条大宮西入 HP: http://www.kyoto-music.net 市原栄光堂 TEL: 075-371-6843 FAX: 075-371-8685 ※ 送料は実費を頂戴いたします。 ★ 無料カタログございます。ご希望の方はご用命ください。</p>
--	--	---